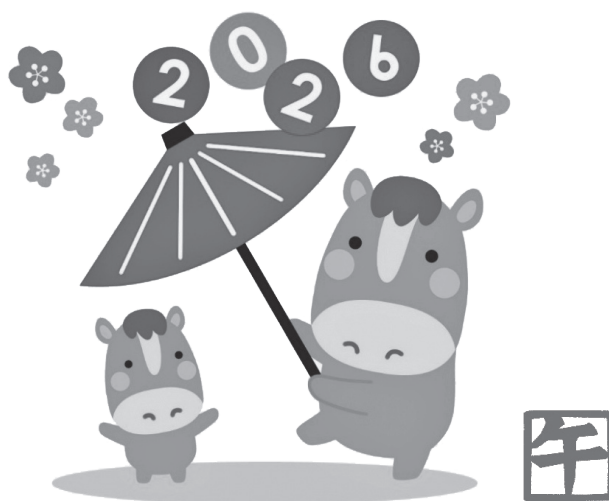




八雲町社協だより

ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

迎春



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会

会長 大野 尚 司

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた令和八年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は本会の事業推進及び運営につきまして、温かいご支援とご協力を賜り、役職員を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

さて、地域を取り巻く環境はめまぐるしく変化をし、少子高齢化や核家族化、孤立・引きこもり等さまざまな問題が顕在化されるようになり、これらの課題についての取り組みが重要となってきました。

地域課題への対応に当たっては、公的な制度に基づくサービスや支援だけでなく、地域の人たちによるお互いに支え合う地域づくりが重要と考えております。

八雲町社会福祉協議会では、令和五年度から五カ年計画で地域福祉の充実を図るため策定した「新四期地域福祉実践計画」を基軸として、地域共生社会への実現に向け、『ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり』を基本理念とし、各種施策・事業の推進を図り、町民の福祉向上に尽力してまいりますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新しい年を向かえるにあたり、社協がなすべき役割や町民が望んでいる姿を体現できるよう各種事業や行事の遂行に、役職員一同、力を合わせ積極的に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和八年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

第9回 八雲町社会福祉大会

去る令和7年11月29日(土)、第9回八雲町社会福祉大会がシルバープラザで開催され、社会福祉関係者等95名の方に参加いただきました。

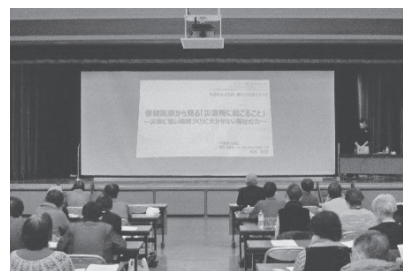
はじめに社会福祉関係物故者に対し黙とうが捧げられ、大野会長より、より良い地域福祉や在宅福祉づくり並びに防災を共に考えていこうと式辞が述べられました。

表彰式では、多年にわたり社会福祉の向上にご尽力された5名の方々にに対し表彰状が授与されました。受賞者を代表して安藤辰行氏より、この度の受賞を機会に、微力ながら地域福祉のより良い進展のためこれからも努力するとお礼の言葉がございました。

実践報告では、みなみ北海道旅行社代表 藤谷周平氏より、「八雲町観光案内所 はちかん」の、地域の住民が立ち寄れる場所づくりや誰かの「やりたい」気持ちの支援についてお話ししていただきました。八雲町社協で8月より開催している「つどいの場(仮称)」にもご協力いただいております、合わせて報告させていただきました。

記念講演では、「保健医療から見る『災害時に起こること』～災害に強い地域づくりに欠かせない福祉の力～」と題し、八雲総合病院DMATチーム薬剤師 崎本裕治氏にご講演いただきました。講演では災害支援について経過や現在の体制についてお話しいただき、実例を踏まえ心構えや備えるべきことをご教授いただきました。「いざというときに助け合い協働できる仲間づくりが一番大切」と締めくくられ、日頃の関係づくりの重要性を強調しました。

終わりに八雲町ボランティア連絡協議会会長 小泉笑子氏より、住民同士が支え合う「福祉でまちづくり」のさらなる実践におけ、町民誰もが地域社会の一員として安心・安全の地域を創り上げなければならないと大会宣言を採択し終了しました。



受賞おめでとうございます。

社会福祉事業功労者に対して功績を讃え、表彰状を送り感謝の意をあらわしました。
また、北海道社会福祉協議会会長表彰の伝達も行いました。
ここにご芳名を掲げて、心からの敬意を表します。

【八雲町社会福祉協議会会長表彰】
☆八雲町社会福祉協議会役員として十年以上在任し、その功績が顕著である方

目谷朝子(熊石根崎町)

☆福祉団体の役員として永年勤められ、その功績が顕著である方

安藤辰行(野田生)

佐橋忠男(立岩)

長水卷子(熊石畳岩町)

【伝達】
☆北海道社会福祉協議会会長表彰

工藤美保(東野)

【敬称略、順不同】



第9回渡島噴火湾社会福祉協議会連絡会議



令和7年10月24日(金)に、渡島噴火湾に位置する近隣4町社協による連絡会議が森町で開催されました。(長万部町、八雲町、森町、鹿部町)

はじめに開催地社協の森町社協会長 伊藤秀信氏よりご挨拶があり、その後、3町社協会長よりご挨拶がありました。

研修では、北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課主事 石上優次氏より「社会福祉協議会の役割～基本要項2025をベースに～」と題し、社会福祉協議会が担う地域での役割や求められる姿勢、今後の地域福祉を支える活動者・従事者の育成と協働の促進をするためには、若い世代のボランティア参加が不可欠で、いかに福祉の理解や興味関心を高めるかの重要性をお話いただきました。

閉会後には情報交換会が行われ、各町の様々な課題や福祉の推進について活発な意見が交わされ、各社協役職員の交流・親睦が図られました。

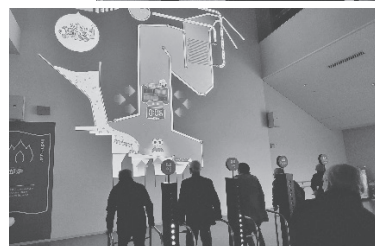
令和7年度 八雲町社会福祉協議会役職員先進地視察研修

このたび、11月11日～12日の2日間にわたり、地域の先進的な環境への取組と文化資源について理解を深めることを目的に役員研修視察を行いました。

1日目は、環境・エネルギー地域融和を考えた廃棄物処理施設『札幌市駒岡清掃工場』を視察してきました。こちらの施設は、札幌市内及び近郊で出されるゴミを燃やし、エネルギーに変える『サーマルリサイクル』が導入されており、電力供給、売電し地域に還元される『循環型社会』の取組により、資源物再利用、リサイクルの必要性、食品ロスについてなど、音楽にのせて楽しく学ぶことができる施設でした。

2日目は、国指定文化財『北海道旧本庁舎(赤れんが庁舎)』を視察しました。一度は火災で内部が全焼した庁舎は復元工事が行われ、昭和44年には国の重要文化財に指定、令和元年から6年かけ大規模改修工事が行われました。庁舎に使われているレンガの数は250万個といわれ、ガイドの方による案内のもと、全道の市町村の特産品、工芸品の展示や体験型の情報コーナーの見学をしました。アイヌ文化と歴史展示では昔の地図があり、八雲町に現在ある野田生は“ノタライ”、落部は“オトシヘ”と記載されていました。

北海道開拓から150年以上となりますが、環境技術と文化資源という異なる分野ではあるものの『持続可能性』が重要視されていることを実感しました。今回で得られた知見で業務に活かされるところは活かし、引き続き地域との連携強化や社会貢献を目指し、住みやすいまちになるように生かせればと感じました。



赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金運動が10月1日～12月31日まで行われ、町民の皆様から善意の募金が集まってきております。

令和7年11月30日現在の途中経過をご報告致します。

2,485,030円

(目標額 3,200,000円)



内訳：	戸別募金	1,200,944円
	街頭募金	217,653円
	大口募金	982,918円
	その他	83,515円



赤い羽根共同募金×きらきら★やくもちゃんず 八雲町限定ピンバッジ

500円以上の募金で希望される方に差し上げます。

八雲町社会福祉協議会本所、パノラマパーク(ガチャガチャ)で受け付けております。

きらきら★やくもちゃんず とは…

木彫りのクマのきぼりんと北海道八雲町の特産品8品目の特徴をそなえた8人の妖精たちが「やくもちゃんず」です。

町のPRキャラクターとして活動することが夢です。



やくもねぎちゃん

白根が長く軟らかい軟白ねぎのように繊細でやさしい妖精です。



やくもほたてちゃん



やくもみるくちゃん



やくもさけちゃん



やくももちちゃん



やくもあわびちゃん



やくもかすみちゃん



きぼりん

令和7年度八雲ボランティア研修旅行

去る11月5日(水)、八雲ボランティアの研修旅行が行われました。

研修旅行には社協職員1名が随行し、俱知安町にある『俱知安風土館』を見学、戦時中に行われた「着氷実験」やゼロ戦の右主翼も常設展示されており、俱知安町の歴史だけでなく、戦争についての理解を深める研修となり、歴史を後世に伝えるボランティアも必要だと感じました。

No.39

ボラ通



八雲ボランティア お弁当配布事業

12月6日(土)、八雲ボランティアにより147個のお弁当が用意され、八雲地区の高齢者世帯へ配られました。



生活支援コーディネーター【おおしみず】の
コーディネーターは
こ〜でね〜と！！



生活支援コーディネーターに関する
情報をお届けします！

「〇〇がやりたい」
「〇〇があったら助かる」

是非ご連絡を！
☎64-2112

謹賀新春

あけましておめでとうございます！



令和8年が始まりました。昨年を振り返ると、お会いする方々に助けてもらってばかりな1年でありました…。「八雲町には手を差し伸べてくれる方がたくさんいる！」そう強く思った1年でもありました。住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、地域全体でご高齢者を支えていく【生活支援体制整備事業】を推し進めるために、今後、そういった方々に協力を求め、支え合いの仕組みづくりがいつかできたら…と思いながら、新年を迎えた自分がいます。

生活支援コーディネーターになって間もなく2年。上記を念頭に置き、今年も頑張らせていただきます！どうぞよろしくお願いいたします！

昨年の大清水はこんなことをしました！



やくも支え愛隊の活動支援

誰でも座れる椅子プロジェクトの支援

いきいき百歳体操の支援

げんき食堂の支援

高齢者お役立ち情報誌の作成・配布

老人クラブ(1団体)の活動支援

つどいの場(仮称)の開設

生活支援体制整備事業協議体の活動(バザー・畑づくり)

今年は・・・

地域住民と畑づくり

???

???を新しい取り組みに書き替えられるように…

勇往
邁進



緊急通報システム設置事業

独居高齢者に急病・けが等の緊急事態が起きたとき非常ボタンを押すと受信した消防署、社協で迅速な対応を行います。

【対象者】

- 病弱な65歳以上の独居高齢者
- 自宅に固定電話機がある方
- 緊急時に近所で連絡協力を頂ける方がいる方

※台数に限りがあるため、関係者による選考会議を開き設置者を決定致します。



●申込先●

八雲町社会福祉協議会(Tel 64-2112)



皆さんの善意のご寄付

ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

令和7年10月16日～令和7年12月15日
(順不同・敬称略)

【一般寄付】

- 津軽三味線杉本企画
代表 杉本雅人 50,000円
- 曹洞宗第二教区青年会 59,662円

【物資寄付】

- 匿名 タオル40枚



社協活動メモ

十月

- ・第2四半期定期監査
- ・渡島・松山管内社協職員連絡協議会合同研修会 厚沢部町

- ・安全運転管理者法定講習
- ・第九回渡島噴火湾社会福祉協議会連絡会議

- ・八雲ボランティア研修旅行 森町 倶知安町
- ・第五回理事会

十一月

- ・北海道社会福祉協議会 トップセミナー（社会福祉協議会編） 札幌市

- ・北海道市町村社会福祉協議会会長 社協経営、運営を考える意見交換会 札幌市

- ・全道市町村社協事務局長連絡会議 札幌市
- ・八雲町社会福祉協議会役職員先進地視察研修 札幌市

- ・第二回渡島管内社協職員連絡協議会役員会 函館市

- ・若年性認知症の当事者を支える研修会
- ・北の大地に津軽のかまりチャリティーコンサート

- ・第九回八雲町社会福祉大会

十二月

- ・八雲町ボランティア連絡協議会役員会
- ・八雲ライオンズクラブクリスマス家族会



八雲町ボランティア連絡協議会からのお知らせ

八雲町ボランティア連絡協議会では、ヤクルトさんご協力のもと、シルバープラザ内で自動販売機の取り扱いを行っています。売上げの一部はボランティア活動に使用されます。是非ご利用とご協力をお願いいたします。



訂正

「八雲町社協だより」会報79号（令和7年11月1日発行）の賛助会員町内別加入内訳の記事にて、事業所名の誤りがありましたので、お詫びし訂正させていただきます。

誤）(株)館坂事務所

正）(株)館坂事業所

誠に申し訳ございませんでした。

会報第八十号

八雲町社協だより

令和八年一月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-642112
FAX 0137-642160